

2017年度 愛知製鋼 入社式を挙行

愛知製鋼株式会社(本社:愛知県東海市、社長:藤岡高広)は、4月3日(月)、愛知製鋼企業年金基金体育館「アスカム」において「2017年度 入社式」を行いました。

入社式には新入社員 103 名と役員、労働組合代表など関係者約 200 人が出席し、社長の藤岡より新入社員への歓迎と激励メッセージを述べました。また新入社員への激励を込め当社テレビCM出演の一輪車世界チャンピオン佐藤彩香さんのビデオメッセージと海外事業体 8 社からのビデオレターを放映し、和やかな入社式となりました。

＜藤岡社長メッセージ要旨＞

本日からこの愛知製鋼で、社会人としての第一歩を踏み出す皆さんの新しい門出を心からお祝い申し上げます。当社は、創業者の豊田喜一郎が「よきクルマは、よきハガネから」という高い志を掲げ、1940年3月8日の創立以来、諸先輩方が努力を重ね、「世界に冠たる自動車用特殊鋼・鍛造品の一貫製造メーカー」という評価を築き上げてきました。

現在、大口需要家の自動車業界では特殊鋼使用量減少に繋がるHV車を始め小型で低燃費な次世代車への普及が進み当社にとっては依然厳しい環境となっています。このような変化にもしなやかに対応していくためには「先を見通す力」と「真の実力」が必要です。現状を打破し失敗を恐れず「まずやってみよう!」の気持ちで積極的にチャレンジしてください。

そして皆さんが仕事をする上で常に心がけてほしいことを4つお伝えいたします。

1. 「正直」…会社の行動規範です。たとえ失敗したとしても、その事実を隠すことなく「正直」に報告し、素直に反省すること、そして失敗から学び、次の機会にどう生かすのかをしっかりと考えることが大切です。
2. 「安全」…「安全は、作業の入口」という言葉どおり安全はどんな作業よりも優先されるべきです。当社は昨年1月8日に重大な事故を発生させてしまいました。我々はこの「1. 8」を真摯に反省し、確実にステップアップしていかなければなりません。「危ないものを危ないと言える」風土、「決められたルールを必ず守る」文化を大切に、絶対に事故を起こさない会社にしていきましょう。
3. 「I Will の精神」…「I Will」とは「私がやってみよう」「私が会社を変えていくんだ」という強い当事者意識の表現です。自らの夢のため「現地現物」で研究に没頭した創業者 喜一郎の「やり抜く意思」こそが「I Will」の表れです。皆さんもこのDNAを引き継ぎ、どんな困難な仕事も絶対にやり遂げる強い決意を持つとともに、上司・先輩から謙虚に学び、「考動 (=考えて動く)」に移してください。
4. 「道徳心」…オープンでフェアな道徳心を持った人間であることをお願いします。我々は一人の社員・技術者である前に一人の道徳心を持った人間として、いかなる時にも正義を貫き、公平無私の態度で臨み、正しい決断をすべきです。その点を正しく理解し、相互信頼のもと、正直一番で誠実に職務にあたってください。

2017年は新本館が完成し、また、「カンパニー制」という新しい組織体制が始まるなど、『New AICHI STEEL』の始まりとも言える年です。この機会を確実に生かし、全社一丸となって「もっと良い会社」を目指していきます。

本日、社会人として、愛知製鋼の社員として、新たな一歩を踏み出した皆さんも、その責任と自覚を胸に、一つひとつの仕事を確実に積み上げ、お客様の良いモノづくりに貢献し、誇りを持てる会社にしていきましょう。



最後に、皆さんが希望に満ちた今の気持ちを忘れず、豊かな発想力と粘り強い行動力を発揮し、明日の愛知製鋼を担う頼もしい人に成長していただくことを心より祈念し、私の挨拶といたします。

以上